

研究・調査報告書

報告書番号	担当
575	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Health Claims on the Benefits of Moderate Alcohol Consumption in Relation to Genetic Profiles (遺伝的プロファイルに関連した適量アルコール摂取の利点に関する健康強調表示)	
執筆者	
VAN VELDEN D.P., KOTZE M.J., BLACKHURST D.M., MARNEWICK J.L., KIDD M.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Wine Res, Vol.22, No.2, Page.109-112 (2011.07)	
キーワード	
遺伝的プロファイル、適量アルコール摂取、健康強調表示	
要 旨	
<p>43名で循環器疾患に関連した遺伝的及び環境要因について調べた。このうち、7名(16%)はメタボリックシンドロームと診断された。遺伝的要因はアポリポ蛋白質 E (ApoE) に着目した。アポリポ蛋白質 E (ApoE) は VLDL、HDL などのリポ蛋白質を構成している主要なアポリポ蛋白質である。ApoE 遺伝子には E2、E3、E4 の3つの対立遺伝子があり、それぞれのアイソフォームがある。C末側の 202-299 位に脂質、140-160 位に LDL 受容体への結合部位があると考えられており、アイソフォーム間で 112 位と 158 位のアミノ酸に違いがある。ApoE3 は正常型で ApoE4 はアルツハイマー病の危険因子、ApoE2 は受容体との結合力が低く家族性 III 型高脂血症の原因となると考えられている。今回、被験者の ApoE 遺伝子型の分布は E3/3 が 58%、E2/3 が 19%、E3/4 が 16%、E2/4 が 5%、E4/4 が 2%であった。ApoE の E2 対立遺伝子の多型とメタボリックシンドロームの特徴項目(腹部肥満、高血圧、高血糖、高トリグリセリド血症、低 HDL コレステロール) 数の増加には、有意な相関が見られた。同定された臨床的、生化学的異常は遺伝子型と環境要因の複合影響によるものと考えられた。特に、循環器疾患に関連する ApoE2 及び/又は ApoE4 対立遺伝子を持つ人は過剰なアルコール摂取、高カロリー食と喫煙を制限した方がいいと思われる。</p>	